

健康チェックシート（R4年度冬季休業）

学生諸君および保護者の皆様には、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、一人一人が基本的な感染防止対策に努めていただいております、心から感謝を申し上げます。

本校では、国および愛媛県・広島県の新型コロナウイルス感染症に対する基本方針を踏まえ、地方自治体および関係機関等と連携を行いながら、冬季休業明けも安心・安全な学生生活であり続けるために、健康チェック Web アプリにより、登校開始前（寮生は帰寮前）の1週間はもちろん、冬季休業中の学生の体調管理および生活・行動状況の確認をさせていただきます。これは、地方自治体および関係機関から『登校開始前（寮生は帰寮前）の一定期間、学生に健康観察および行動履歴を記録させ、健康状態等に異常がないことを確認したうえで登校させること』が要請されており、その要請に基づく取組となります。

したがって、①健康チェック Web アプリへの入力できていない学生、②登校前2日間に感染を疑う症状がある学生については、学校として登校(寮生は帰寮)を認めることができません。なお、①に該当する学生は帰宅後3日間、②に該当する学生は症状が消退した後2日間の自宅待機とします。また、③感染を疑う症状が出た場合は、かかりつけ医に相談の上、診断および検査につなげてください。①・②・③については、学校（12/29-1/4を除く平日17:00まで：学生課学生支援係0897-77-4621、それ以外：警備員携帯電話：080-1943-3614）に必ず連絡をしてください。

学生諸君の自覚ある行動が、対面授業の継続はもちろん、地域の安心・安全を守ることにつながります。引き続き我慢を強いることがありますが、ともに感染防止対策に努めましょう。

保護者の皆様におかれましても、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

| | | |
|---------|---------|-------------------|
| 氏 名 | | 住居形態（いずれかに○） |
| 学 科・学 年 | 学 科 ・ 年 | 自宅・自宅外（寮）・自宅外（下宿） |

【健康チェック Web アプリへの入力状況】

入力済み 未入力（未入力の場合登校（寮生は帰寮）を認めることができません。）

【新型コロナウイルスワクチン予防接種の状況について】

4回接種済み 3回接種済み 2回接種済み 1回接種済み 接種していない

※オミクロン株対応ワクチン未接種の学生は、PCR検査または抗原検査キットにて検査し、その結果（陰性）の証明（写真可）の提出にご協力願います（任意）。

【登校前（寮生は帰寮前）1週間の生活・行動状態】

| チェック項目 | いずれかに○ |
|---|-----------|
| ① だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない | は い ・ いいえ |
| ② 臭覚や味覚の異常がない | は い ・ いいえ |
| ③ 体が重く感じる、疲れやすい等がない | は い ・ いいえ |
| ④ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない | は い ・ いいえ |
| ⑤ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない | は い ・ いいえ |
| ⑥ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない | は い ・ いいえ |
| ⑦ その他、気になること（以下に自由記述） | |

【登校日（寮生は帰寮日）の移動手段について】

① 移動手段（いずれかに○、複数回答可）

徒歩 ・ 自転車 ・ 船 ・ 自家用車 ・ バス ・ バイク ・ その他（

② 出発地（いずれかに○） 自宅 ・ 下宿 ・ その他（ ） 、 出発地の住所： _____

【個人情報の取り扱いについて】

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、本校は、厳正なる管理のもとに保管し、学生の健康状態の把握、登校可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き学生および保護者の同意を得ずに第三者に提供いたしません。ただし、学内において感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

【感染を疑う症状が発生した場合の保護者へのお願い】

当日のうちに、学生は保護者の迎えで帰宅してもらいます。やむを得ない理由により当日の対応が難しい場合、平日 8:30～17:00 は学生課学生支援係（0897-77-4621）へご相談ください。寮生について、平日 17:00 以降および休日は学生課寮務係（0897-77-4622）へご相談ください。

年末年始の感染対策についての考え方

令和 4 年 12 月 9 日

新型コロナウイルス感染症対策分科会

● 新型コロナウイルスの新規感染者数については、短期的な予測では、地域差や不確実性はあるものの、全国的に増加が継続すると見込まれている。また、日本は欧米諸国と比べて自然感染者の割合が低いこと、今後、免疫の減衰や免疫逃避能のある株への置き換わりなどにより、まだ多くの感染者が発生し、保健医療への負荷が高まる可能性がある。

● 社会経済活動を維持しながら、医療のひっ迫を招かないようにするために、この年末年始の様々な活動は実施しながら、次の3点の感染対策をポイントとするべきである。

(1) オミクロン株対応ワクチンの早期接種

オミクロン株対応ワクチンは従来型ワクチンを上回る重症化予防効果、発症予防効果や感染予防効果が期待されている。社会経済活動を維持するためにワクチン接種は重要である。冬は帰省や受験など大切な時期であり、オミクロン株対応ワクチンの年内の接種を推進することが必要である。

(2) 同時流行や感染拡大が生じた場合の医療ひっ迫防止

同時流行や感染拡大が生じた場合に医療のひっ迫を招かないよう、外来受診や自宅療養に関する以下の内容を国民に十分周知していく必要がある。

・重症化リスクが低い方（高齢者や基礎疾患のある方、妊婦や小学生以下の子ども以外の方）は、喉の痛みや発熱などの症状が出た場合、自ら抗原定性検査キットを使った検査を検討する。陽性の場合、軽症であれば、地域の健康フォローアップセンターに登録して自宅療養を行う。

・年末年始は医療機関の診療体制が通常とは異なることから、事前に地域の医療機関を確認するとともに、抗原定性検査キットや解熱薬等を事前購入する。

(3) 十分な換気の実施等

場面に応じた適切なマスクの着脱などの基本的な感染対策を徹底する必要がある。特に、感染力の強いオミクロン株に対して換気は重要であり効果が期待される。冬場は暖房器具の使用のため窓を閉め切りがちになるため、室内温度に留意しながら、定期的に窓開けを行うことが望ましい。

また、帰省先では地元で高齢の親族等と接する機会が多くなるため、事前に検査を受けるよう呼びかけることが必要である。

【保護者確認欄】

上記の内容について確認しました。

① 保護者氏名（自署） _____

② 電話番号 _____

確認日 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日